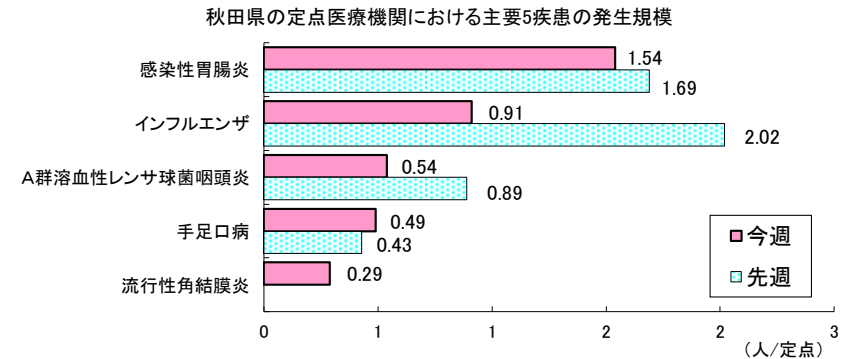




【第12週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で9%減少しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、横手、湯沢で増加、大館、北秋田、能代、由利本荘、大仙で減少しています。
2. インフルエンザは、県全体で55%減少しています。保健所別では、能代で増加、秋田市、大館、秋田中央、由利本荘で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で39%減少しています。保健所別では、能代で増加、北秋田、由利本荘で同規模、秋田市、大館、秋田中央、大仙、湯沢で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減			
RSウイルス感染症	0.03	0.03																			0.25						0.25	↗		
インフルエンザ	2.02	0.91	↘	5.27	3.09	↘	4.71	0.57	↘					0.25	↗	2.50	1.50	↘	0.50	0.17	↘									
咽頭結膜熱	0.20	0.06	↘	0.86		↘															0.50	↗					0.25	↘		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.89	0.54	↘	1.29	1.14	↘	0.75		↘	0.50	0.50			1.00	↗	2.75	1.50	↘	0.25	0.25		0.25		↘			1.25	↘		
感染性胃腸炎	1.69	1.54	↘	1.86	2.00	↗	1.25	0.75	↘	2.50	1.00	↘	1.00	0.67	↘	2.75	3.75	↗	1.00	0.75	↘	3.25	1.25	↘		0.33	↗	1.25	2.25	↗
水痘	0.09	0.14	↗							0.50	↗	1.50	1.00	↘							0.25	↗								
手足口病	0.43	0.49	↗	2.00	1.29	↘										0.25	1.00	↗			0.50	↗				0.67	↗			
伝染性紅斑	0.09	0.11	↗	0.14	0.14																0.50	0.75	↗							
突発性発しん	0.14	0.26	↗	0.29	0.86	↗		0.25	↗															1.00		↘		0.50	↗	
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎		0.03	↗											0.33	↗															
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎		0.29	↗		0.67	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.38		↘	2.00		↘										*	*					1.00		↘						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎 (ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から3人、能代保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	12週		
		1週-11週	12週	12週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	3498	20	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	31		
	腸管出血性大腸菌感染症	221	6	
	腸チフス	9		
	パラチフス	3		
四類	E型肝炎	123	1	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	39		
	エキノコックス症	4		
	黄熱			
	オウム病	3		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	5		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	12週		
		1週-11週	12週	12週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	56		
	デング熱	32		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1, H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	7		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヤス症			
	マラリア	7		
	野兔病			
	ライム病	1		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	307	3	1
レプトスピラ症	1			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	123		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	51		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	309	1	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	5		
	急性脳炎	215	4	
	クリプトスポリジウム症	1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	27	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	206	1	
	後天性免疫不全症候群	188		
	ジアルジア症	9		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	110		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	10		
	侵襲性肺炎球菌感染症	628	4	
	水痘(入院例に限る)	93	3	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	1094	8	4
	播種性クリプトコックス症	22	1	
	破傷風	16		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	28		
	百日咳	1747	5	
	風しん	68		
	麻しん	9		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2			
指定	新型コロナウイルス感染症	1357	2	

トピック

<インフルエンザ入院サーベイランスの状況について>

■インフルエンザ入院サーベイランス

インフルエンザ入院サーベイランスは、インフルエンザの発生動向や重症化の傾向を把握することを目的として、2011年(平成23年)9月5日より年間を通して行われています。対象医療機関は、秋田県内8ヶ所、全国約500ヶ所が指定されており、インフルエンザによる入院患者の人数や臨床情報を、1週間(月～日曜日)ごとに報告しています。得られた情報は毎年9月頃から翌年5月頃までのシーズン中、秋田県の状況については当感染症情報センター週報で、全国の状況については厚生労働省ホームページで公表されています。

(参)厚生労働省HP: インフルエンザの発生状況_報道発表資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html

■今シーズンの状況

今シーズン(2019年9月4日～)の県内におけるインフルエンザ入院患者数は、第10週現在311人で、過去8シーズンの同時期に比べて最も多くなっています(図1)。年齢別割合は、60歳以上が半数を占めた昨シーズンと異なり、9歳以下が半数を占めました(図2)。また、19人(6.1%)がICU入室や頭部CT検査などを要した重症例でした。

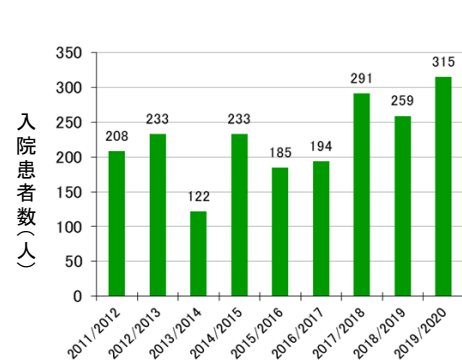


図1 シーズン開始週～第10週のインフルエンザ入院患者数(県内8医療機関)

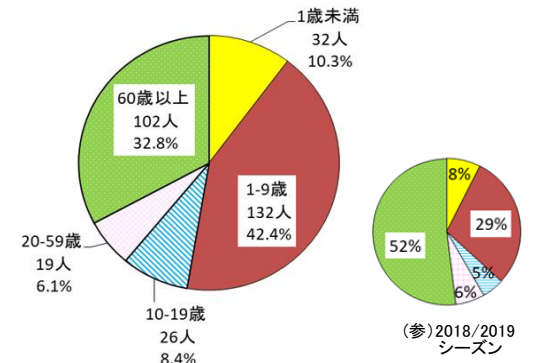


図2 インフルエンザ入院患者の年齢割合 2019/2020シーズン(2020年10週現在)



2019年/2020年シーズン (2019年第36週：9月2日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

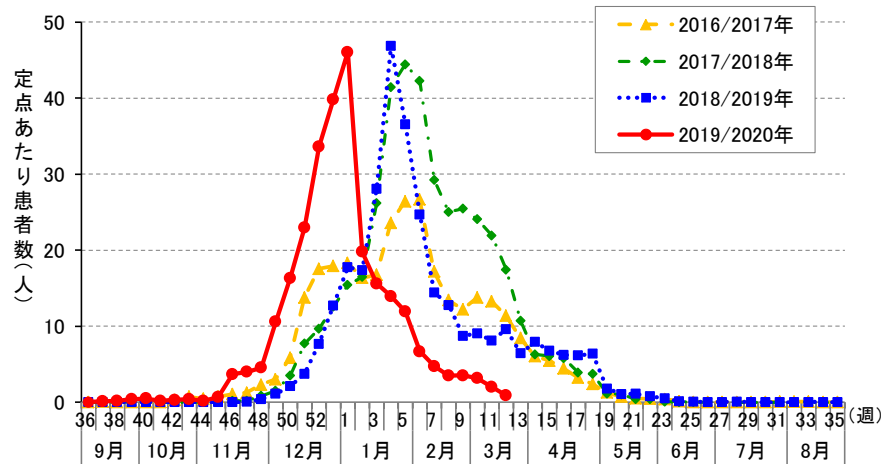


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

県全体として、今週の定点あたり患者数は0.91となり、流行の目安である1を下回りました。

※定点あたりインフルエンザの患者数は流行の目安となる1以下となりました。しかし、これから新年度となり、入進学や就職等で新たな集団生活が始まると、再び感染のリスクが増大しますので、手洗いや咳エチケットなど、日常的な感染予防を継続して行いましょう。

インフルエンザ入院サーベイランス

表 2019/2020シーズン 秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)					
秋田県			全国		
3/9～3/15 (11週)	3/16～3/22 (12週)	累計	3/2～3/8 (10週)	3/9～3/15 (11週)	累計
3	1	319	111	48	12,923

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	型
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	秋田市	白百合いずみ保育園	3/16	127名のうち 17名	28名のうち 1名	18名	3/2 ~ 3/16	B
2	秋田市	かんば保育園	3/17	136名のうち 11名	44名のうち 0名	11名	3/9 ~ 3/17	B

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズン(3月22日時点)の報告数
120施設: 社会福祉施設18、保育所等101、病院1

※社会福祉施設(老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設)等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



感染性胃腸炎情報

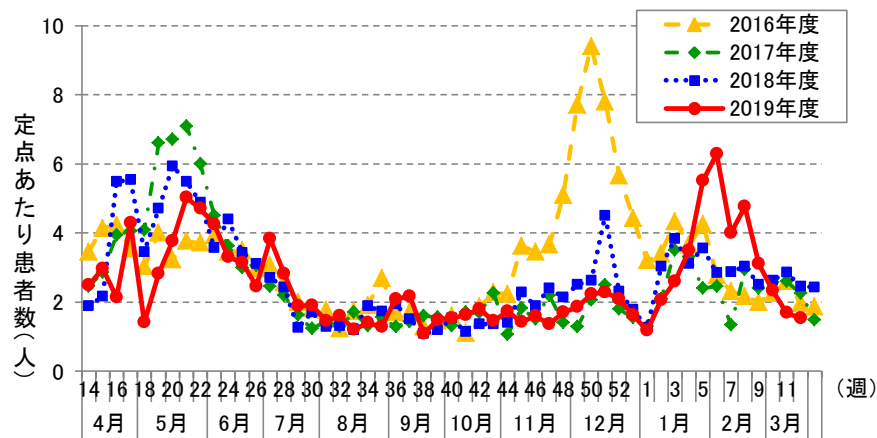


図 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

感染性胃腸炎の集団発生発生状況

感染性胃腸炎の集団発生報告はありませんでした。

その他の感染症の集団発生報告

ヒトメタニューモウイルス感染症の集団発生報告が1件ありました。

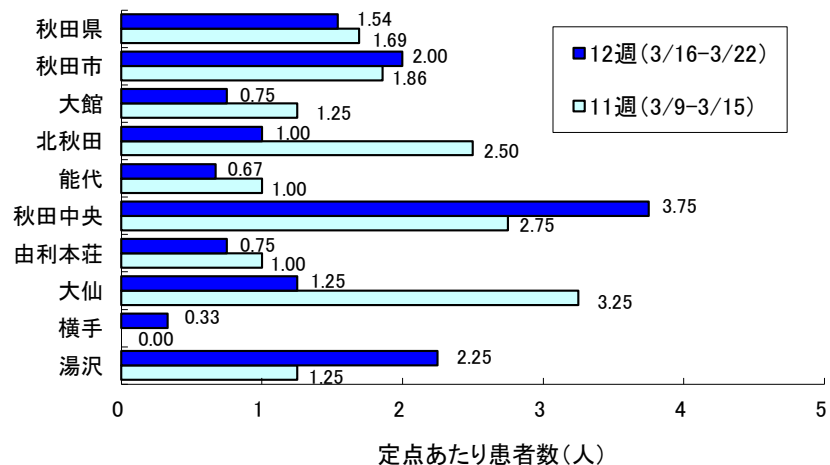


図 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
由利本荘市	若草幼稚園・保育園	3/18	65名のうち 15名	27名のうち 0名	15名	3/9 ~ 3/18	発熱、咳



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	北秋田(1.00)	-

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		